

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	下関市こども発達センター はたぶ園		
○保護者評価実施期間	6年 12月 15日		7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	7年 1月 15日		7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	6年 12月 15日		7年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・現在は、就園児を対象としているので、通園の時から継続的に支援が出来る。ケースによって就学後も引き続き訓練等の担当者による支援が行われている。	・在園の間に親御さんと面談を行い、意識的に対象のお子さんに関わっている。 ・前クラス担任が初回訪問時一緒に何う、もしくは担当者会議に出席する等で連携をとっている。 ・就学後に、引継ぎの担当者会議を実施している。	・就学後も引き続き、包括的、継続的な支援が行われるように取り組んでいます。
2	・就園後もセンターの医療やリハビリ担当者との連携があり、情報交換がしやすい。	・情報共有として、訪問後の記録を回覧している。	・センター以外の医療、児発等の関係機関との連携を図っていけるよう努めます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問担当が、現在では専属でない為に、訪問日や人数が制約されている。		・保育所等訪問専属職員を配置、増員することにより、就園児以外の必要ケースの支援が可能となるので、センターの中で検討していきたいと思えます。
2			
3			